

中学校区におけるめざす子ども像 『自らを律し、自ら学び続ける子』										堺市立八上小学校 校長 正道 浩二			
令和7年度 重点目標 「よりよく生きる」～学習したことを活かす～ ①単元後の子どもの変容を見通した指導計画の作成及びその効果検証 ②家庭学習及び家庭教育の推奨 ③人権尊重の立場に立つ生徒指導 ④通常学級と支援学級の連携強化 ありがとうのあふれる楽校をめざしていく													
確かな学びの現状 昨年度の全国学力状況調査では、どの教科においても学びに向かう力が向上しているのが見て取れるようになった。これまで、国語においては専科教員、算数においては加配教員の影響が大きいと見ている。しかし、国語は読解力や作文力、算数においては発展的な内容には依然として大きな課題が残されている。それらの課題解決のため視点を変え、今年度は、理科において専科を配置し、子どもたちが意欲的に学習に取り組めるよう、教科横断的な学びを推進していく。また、どの教科、どの単元においても単元末を意識した授業を行い、研修全体会で効果検証する。児童一人ひとりが主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、授業改善を行っていく。										豊かな心・健やかな体の現状 全ての子どもたちが安心して、かつ楽しく登校できるよう、子どもたちひとりひとりに居場所があり、さまざまなことに前向きに取り組めるように子ども主体で学校生活を過ごせるように指導を行う。今年度、5・6年生については、おむすびプロジェクトの中で、合鴨農法によるお米の生産体験・おむすびの商品開発や販売体験を通じて、豊かな心と健やかな体を育む。また、睡眠時間の確保、朝食の喫食率、読書等といった基本的な生活習慣に関しても安心した生活を送れるように子どもへの指導を中心に家庭や地域への啓発を含め、各関係機関と一緒に頑張って取り組んでいく。			
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)		達成状況(年度末)				
									自己評価		学校関係者評価		
確かな学び	授業改善	「学習したことを生かす」授業の展開	●「活用できる」授業づくりのために教員の研修	学習した内容について、生活に生かされるような工夫がされていて、次の学習につなげることができている	全国学力学習状況調査・教員アンケート・保護者アンケートにおける肯定的評価	1学期末 3学期始	○	全国学力学習状況調査 (37)(50)(55)(60)	○	この項目に関する項目の肯定的な回答が70%であったが、ほとんどの児童が学習規律を守り、学びに対する姿勢が向上している。それらを指導者とこどもが実感できるような研修・指導を続けていきたいと考えている		○	おむすびプロジェクトは、毎日の食について考えるいい取り組みであった。どの学年も一端を担うような形でできればと思います。先生方は日頃の学習について工夫されていて次のステップにつながっている。
			★授業規律の確立	安心して学ぶ環境が作られている		2学期末	○	教員アンケート(20)	○				
			ICT機器の活用	必要な場面でタブレットを活用した授業づくりをしている。		2学期末	○	教員アンケート(10)	◎	◎	子どもたちがタブレットを身近に感じて、自身が使いたい場面で選択して活用している様子が見られる。引き続き活用の仕方についても研修を進めていきたいと考えている。	◎	学力向上に向けて様々な取組(パソコンの活用等)が進められているののがうかがえる。「親子ふれあいデー」は、宿題がないということより、そのネーミングが秀逸だと思います。ふれあいを意識づけている。また、こどもたちが自主的に話し合いをする場面をよく見かける。グループ活動も積極的でとてもいいと思います。児童一人ひとりを大切にしている。
	学ぶ意欲の向上	学びに向かう力の育成	主体的・対話的で深い学びを実現する授業の展開	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	◎・・・90%以上 ○・・・70%以上 △・・・40%以上 ×・・・40%未満	2学期末	○	全国学力学習状況調査(13)	◎	◎	調査を受けた時期より現在は、自分自身がまず考えを持ち、それを基に学びあう文化ができていると考える。	◎	
家庭学習の積極的な取り組み			週1回以上子どもと一緒に過ごす時間がある。	2学期末	○	保護者アンケート(3)(5)	◎	◎	月に1度、宿題を無くして、親子で触れ合う時間として「親子ふれあいデー」を設定。はじめは肯定的な意見が少なかったが、普段できないことを一緒にできているなど肯定的な意見をいただいている。	◎			
豊かな心・健やかな体	安全安心な学校	すべての子どもが生き生きと、安心してすごせる学校	すべての子どもが安心して登校	いじめ等で人が困っているときは、進んで助けている。	全国学力学習状況調査・堺市児童生徒・学習生活状況調査における肯定的評価	2学期末	◎	全国学力学習状況調査(8)(9)	◎	◎	友だちのものを一緒に片付けてあげたり、友だちが困っていると助けてあげたりする場面がよく見られる。こどもたちの言葉遣いが気になるときがある。	◎	
				人の役に立つ人間になりたいと思う。		2学期末	◎	全国学力学習状況調査(11)	◎	◎	90%を超える回答となっている。たてわり活動や委員会活動で積極的に行動する児童が多い。普段の学校生活でも下の学年の子に寄り添う場面がよく見られる。	◎	
			主体的なコミュニケーションの向上	自ら進んであいさつすることができる。		◎・・・90%以上 ○・・・70%以上 △・・・40%以上 ×・・・40%未満	2学期末	○	堺市児童生徒・学習生活状況調査(32)	○	◎	「ありがとう」は多くのこどもが言ってくれるので笑顔になります。あいさつをしてくれる子、話しかけてくれる子が増えた。顔見知りになると一気に距離が近くなる。	
			健やかな体の育成	低学年は21時まで、高学年は22時まで就寝する。		2学期末	△	堺市児童生徒・学習生活状況調査(61)	○	◎	高学年のこどもたちが特に寝るのが遅い。遅刻してくる子、保護者に送ってきてもらっている子は心配です。		
地域協働・情報発信	地域協働	地域行事への積極的参加	地域行事への積極的参加	自治会の活動内容を知っており、地域行事に積極的に参加している。	保護者アンケートにおける肯定的評価	2学期末	○	保護者アンケート19	○	◎	他の地域に比べて参加率は高いと感じる。八上フェスティバルには、大勢のこどもたちが楽しく参加していた。		
	情報発信	学校からの保護者や地域への情報発信	学校からの保護者や地域への情報発信	学校は、ホームページ等で子どもの様子を分かりやすく伝えている。	◎・・・90%以上 ○・・・70%以上 △・・・40%以上 ×・・・40%未満	2学期末	○	保護者アンケート10	◎	◎	更新頻度も高く学校の様子がよくわかります。こどもたちの楽しそうな様子がほっこりします。地域のイベントの様子も発信するといいのではないと思う。		
校長より(年度末) 今年度より、理科において専科を配置し、子どもたちが意欲的に学習に取り組めるよう、教科横断的な学びを推進していった。すくすくウォッチの結果において『伝える』の項目について顕著に向上した。教師とこども、こどもとこどもの対話を意識した授業づくりが継続して意識できているからだと考える。今年度は、5・6年生のおむすびプロジェクトなど地域の方々との交流する機会を増やし、こどもたちを知っていただき、学校内外においても、安心して学べる環境を築いてきた。さらに来年度は、総合的な学力向上に向けて、カリキュラムを編成し、こども、保護者、地域等が一丸となり、数値においても向上するように努めていきたいと考えています。								学校関係者評価者から(年度末) 学習に苦手意識を持っている子が多いもののみんな前向きに取り組んでいるように思います。100点以上が取れたり、しっかり学習しているノートは表彰されたりと意欲がわくような先生方の工夫で苦手でも努力でカバーできるという考えにつながりとても素敵だと思います。信頼関係を築けているからこそその成果なので、日頃から先生方が愛を持って向き合ってくれていることに嬉しさを感じます。保護者や地域との連携を大切にしながら教育活動が進められていることを心強く思います。おむすびプロジェクトなど今後も地域と学校、保護者と協力しながら、こどもたちの健やかな成長につながる取組が続けられることを期待します。					